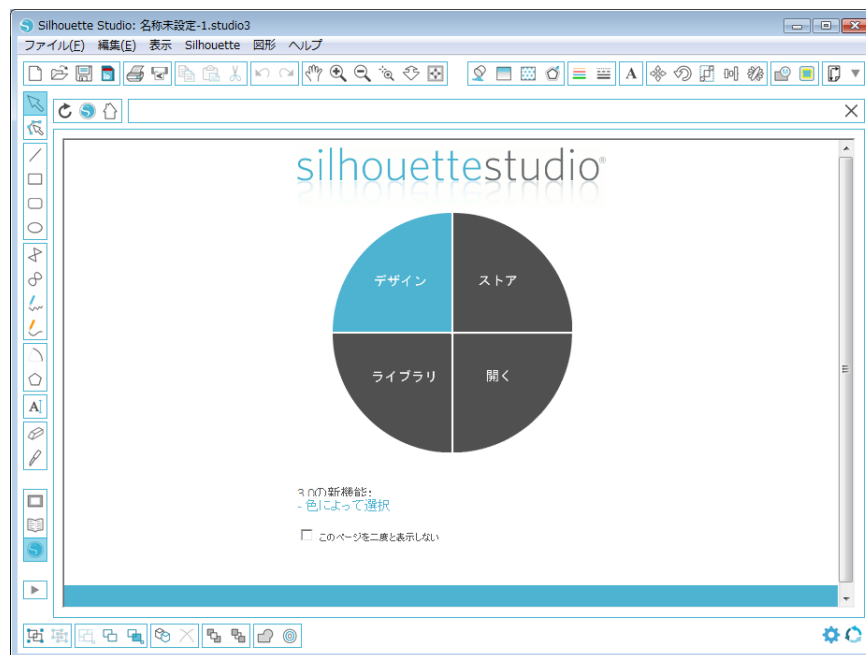


Silhouette Studio(CAMEO 3)導入操作説明書

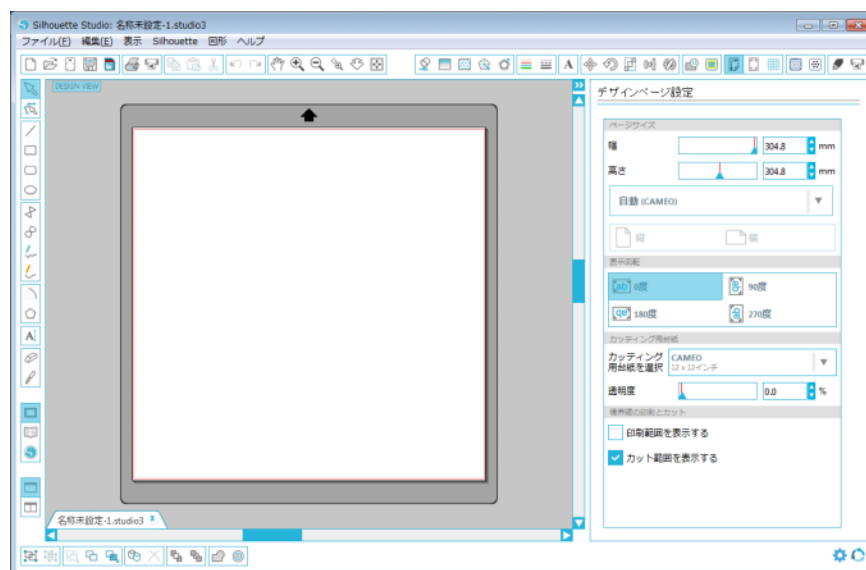
Silhouette Studio (シルエット スタジオ) から Silhouette CAMEO 3 に出力する方法について以下に説明します。なお Silhouette Studio のインストールおよび Silhouette CAMEO 3 との接続については別途資料を参照してください。(以降は Windows での表示例になります。)

1. カuttingフィルムに文字切りを行いたい


Silhouette Studio を立ち上げ、「デザイン」をクリックします。

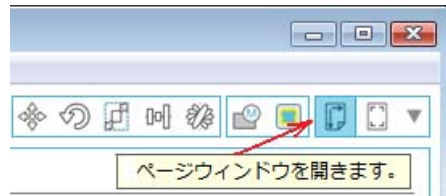


「デザインページ設定」画面が開きます。




「デザインページ設定」画面より、「ページサイズ」を「A4」、「縦」、「表示回転」を「0度」、「カッティング用台紙を選択」に「なし」を設定します。

なお、「ページ設定」画面が開いていない場合は「デザインページウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックします。



ワークスペースのサイズ、方向を設定します。
ここではA4サイズのカッティングフィルムをカッティング用台紙なしで設定する場合の例を説明します。




「グリッドの設定のウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックしてグリッド設定を開き、「間隔」を「10.00mm」、「分割数」を「2」に設定します。

「グリッドを表示する」にチェックし、「種類」に「正正方格子」を選択します。




「グリッドを表示」にチェックするとワークスペースに指定した間隔、範囲でグリッドを表示します。

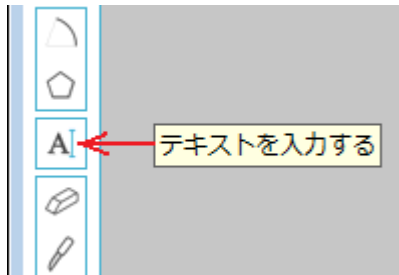


「テキストの書式ウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックして「テキストの書式」を開き、「MS ゴシック」、「文字サイズ」を「72pt」(約 25mm)「縦書き」に設定します。




文字フォントの種類と文字サイズを設定します。
 ここでは、“MS ゴシック”を選択し、文字サイズを 25mm に設定する例を説明していますが、“MS ゴシック”が無い場合は任意の文字フォント、サイズを選択してください。

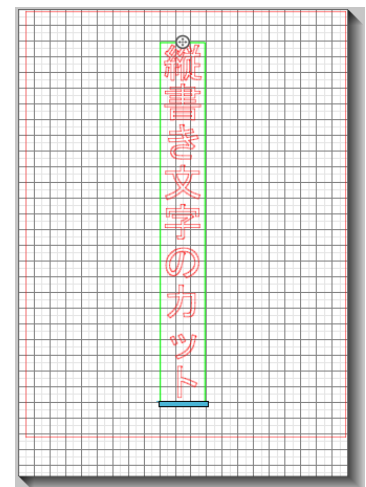
「テキストを入力する」のアイコン  をクリックして文字の入力指定を行います。




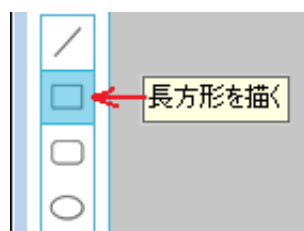
ワークスペース内の文字の入力位置をクリックしてカットしたい文字を入力します。

ここでは、縦書き文字の例を説明しますので日本語の全角文字を任意で入力してください。

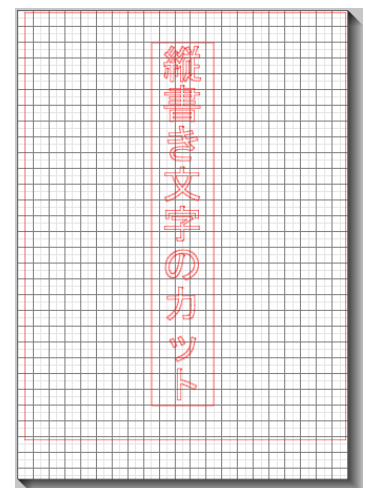
テキストボックスの位置を移動したい場合は  をクリックしてドラッグすることで移動することができます。




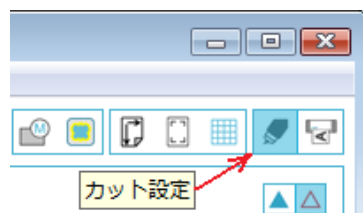
「長方形を描く」のアイコン  をクリックして文字の周りに枠切り用の長方形を描きます。




枠切りを行うと、文字の周りの不要な部分が剥がし易くなります。

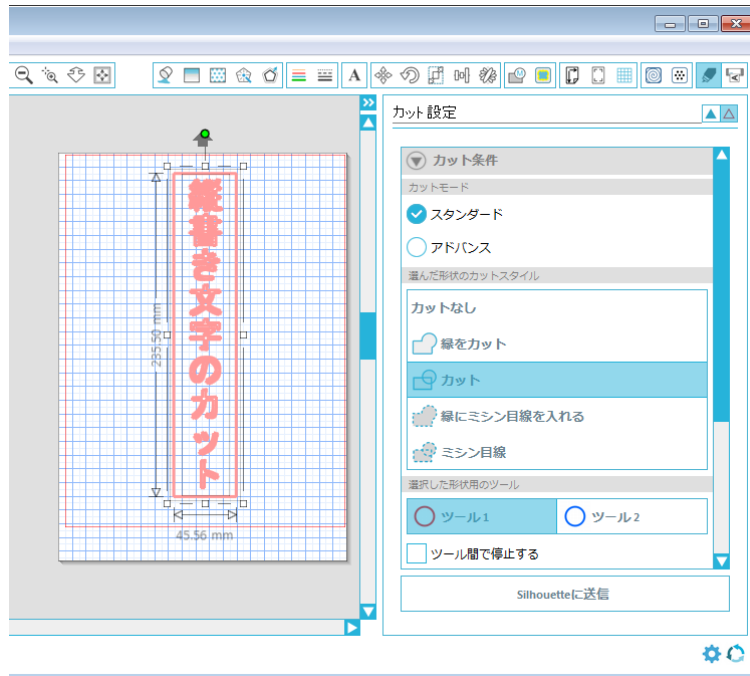



「カット設定」のアイコン  をクリックして「カット設定」を開きます。



枠全体をドラッグして選択状態にし、「カット条件」に“スタンダード”を選択し、「カットスタイル」から“カット”を選択します。

標準付属のカッタープランジヤを使用する場合は、「選択した形状用のツール」に“ツール1”を選択します。



“線をカット”を選択すると枠のみカットされ、文字はカットされません。

枠および、文字のそれぞれを単独に選択することでカットの種類を個別に指定できます。


更にカット設定の中の“メディアタイプ(ツール1)”より「Silhouette ビニール」を選択します。

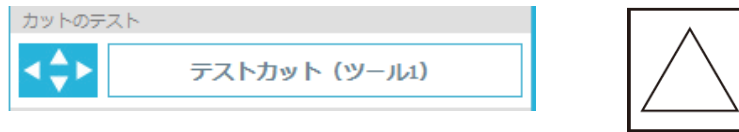
「Silhouette ビニール」を選択すると、初期設定されている“速度”、“厚み”の値が表示されます。メディアの種類によっては速度、厚みの設定を変更する必要があります。

最初は、“厚み”(カット圧)の設定を低めに設定してテストカットを行って最適な“厚み”に合わせてください。

また、付属のカッタープランジヤを使用する場合は、“ラチェットブレード”から“自動調整ブレード”に換えます。図に表示されている自動調整ブレードの刃出し量が初期では1が表示されていますが、“厚み”(カット圧)の数値を上げてても完全に切れない場合には2に上げてみてください。



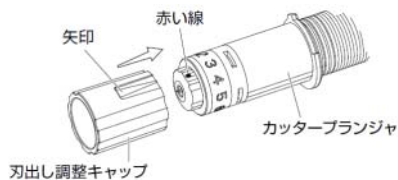
テストカットは、“カットのテスト”の中ののボタンをクリックすることで Silhouette CAMEO 3 のカッタープランジャとメディアの位置を移動することができ、[テストカット (ツール1)] をクリックすることで下図のようなテストカットがされます。



< 刃出し量の調整方法 (SILH-BLADE-3J (別売) を使用する場合) >

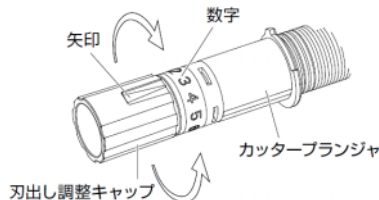
silhouette CAMEO 3 に付属のカッタープランジャは、Silhouette Studio で “自動調整ブレード”(Mac の場合は、“Automatics Blade”) を選択すると自動的に刃出し量を調整しますので手動での調整は不要です。

- ・刃出し量調整キャップをカッタープランジャの赤い線に合わせてセットします。

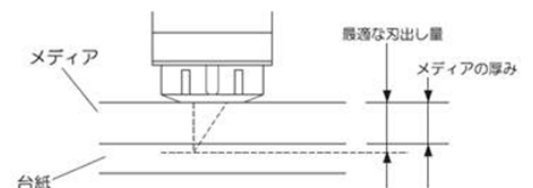


- ・刃出し量調整キャップを回して “1” の値に合わせてます。

このとき、“0” から反時計回りで “10” 方向に回さないでください。また、時計回りに回すとき、“10” を超えて回さないでください。無理に回すとカッタープランジャが故障し調整不能になります。

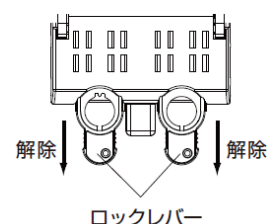


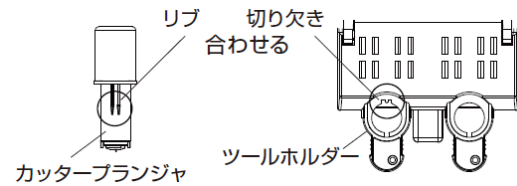
- ・右の図は、最適な刃出し量に調整した場合の “メディア” と “台紙” と “カッターの刃先” の状態を表しています。台紙まで切り抜いてしまう場合は、刃出し量の値の他に「厚み」の値を下げて調整します。



カッターセットの本体への装着方法

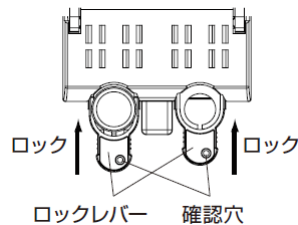
- ・ツールホルダーのロックレバーを手前にゆっくり引き、ロックを解除します。
- ・カッタープランジャをツールホルダーにしっかりと差し込みます。付属のカッタープランジャを使用する場合は、ツールホルダー1 の切り欠きにプランジャのリブを合わせて差し込みます。



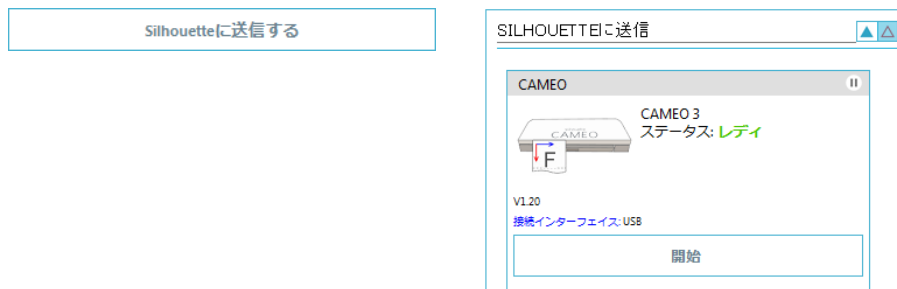


カッタープランジャは完全に奥まで差し込んでからロックしてください。奥まで差し込まれていない場合、メディアが正常にカットされません。

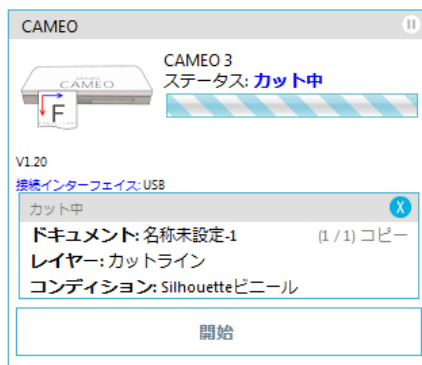
- ・ ロックレバーを戻してロックします。完全にロックすると、確認穴が青くなります。



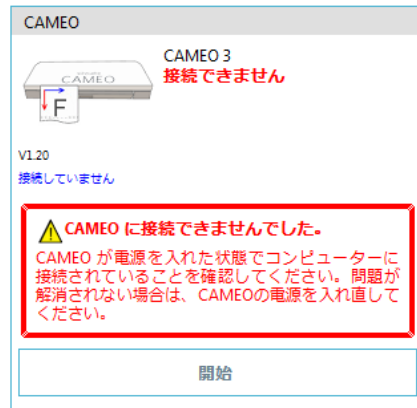
テストカットで問題が無ければ [Silhouette に送信する] をクリックし、「SILHOUETTE に送信する」画面の中の [開始] をクリックします。



「ステータス:カット中」が表示され、Silhouette CAMEO 3 がカットを開始します。



「CAMEO 3 に接続できませんでした。」の表示が出ている場合は、Silhouette CAMEO 3 の接続を見直してください。

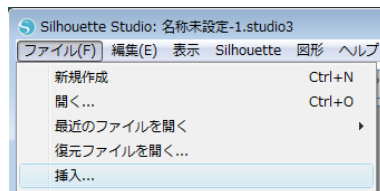


2. 画像データからアウトラインを抽出してロゴのカットを行いたい

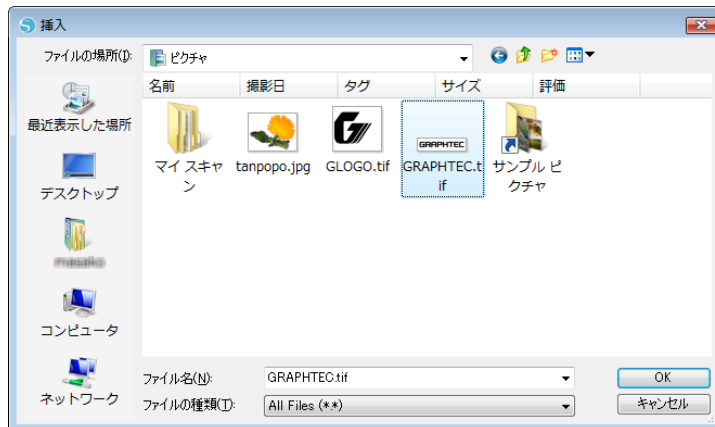
Silhouette Studio の設定は、前述「1. カuttingフィルムに文字切りを行いたい」の
から までの設定を行ってください。

以降の説明は、ロゴの画像データから自動的にアウトラインを抽出してロゴのカットを行う
方法について説明します。

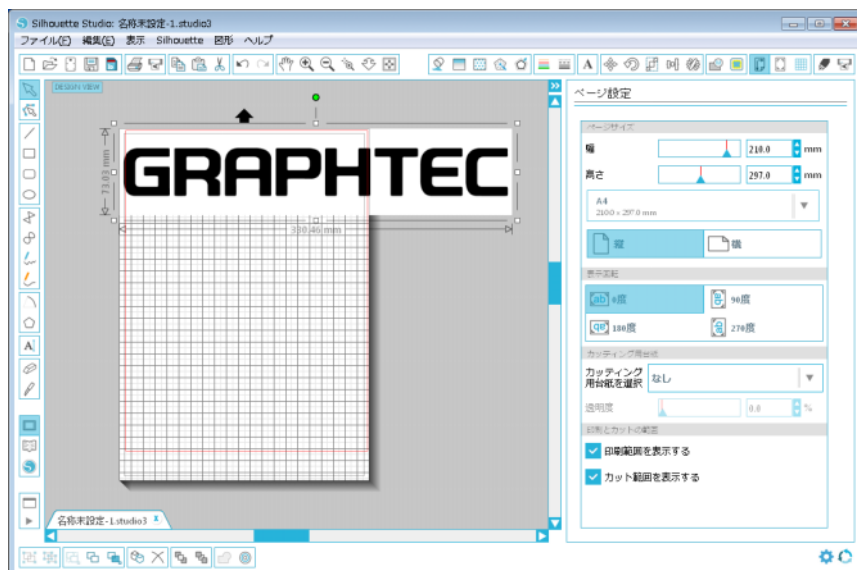
「ファイル (F)」から「挿入...」を選択します。




「ファイルの種類 (T)」に「All Files (*.*)」を選択し、開きたい画像ファイルを選択し、
[OK] をクリックします。




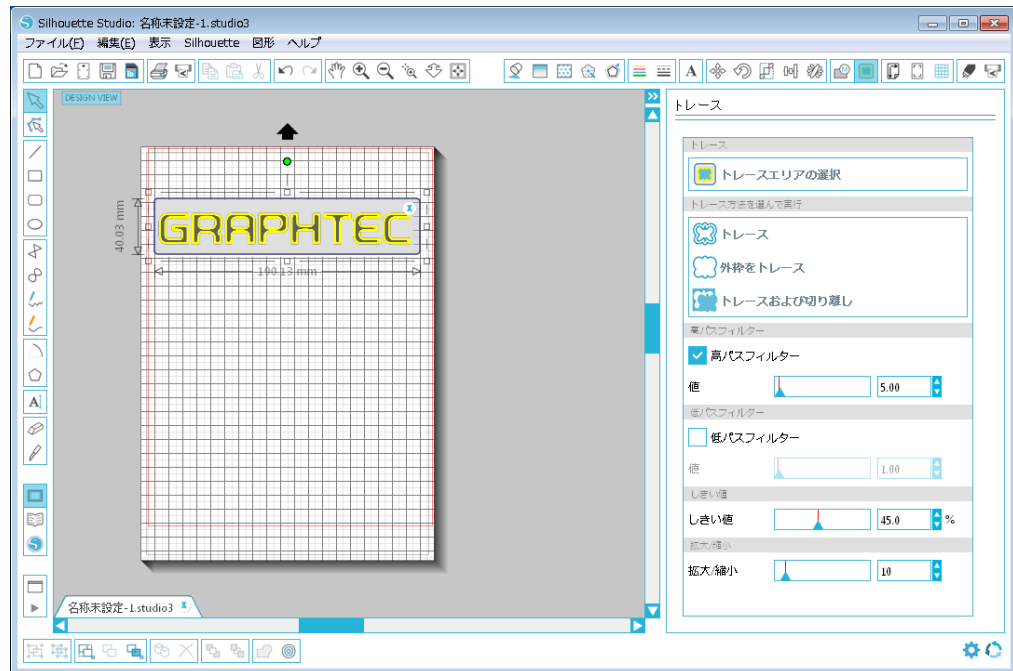
画像のファイルが開きますが、画像サイズが大きい場合は、ワークスペースに収まるように
画像データの角のコントロールポイントをクリックしてドラッグすることでサイズを調整で
きます。



「トレースウィンドウを開きます。」のアイコン をクリックします。

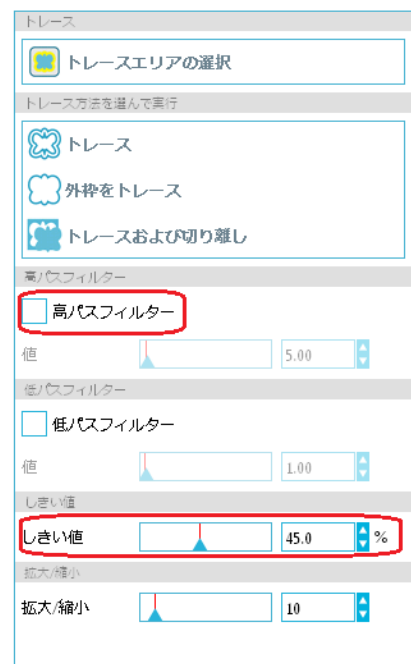
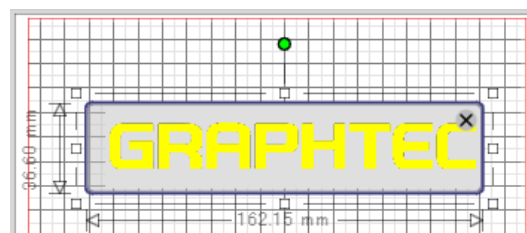



[ トレースエリアの選択] をクリックし、画像データ全体をドラッグして選択状態にします。

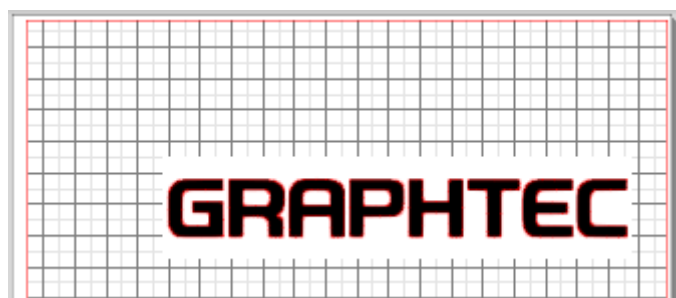


“高パスフィルター”のチェックを外すとロゴデータが黄色になりますが、ロゴデータ全体が黄色にならない場合は、“しきい値”の値を調整します。

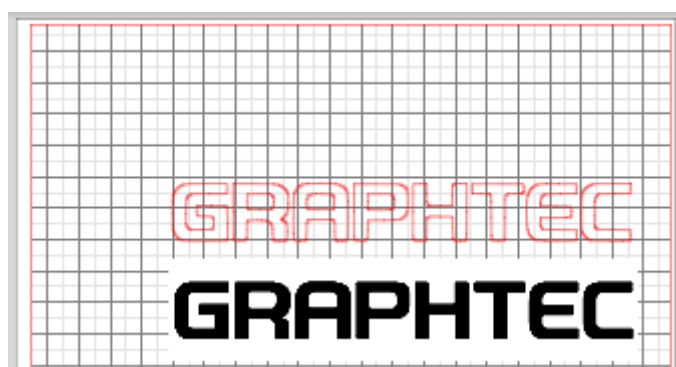
この状態でトレースすることでロゴのアウトラインが作成されます。




[ トレース] をクリックするとロゴデータのアウトラインが作成されます。

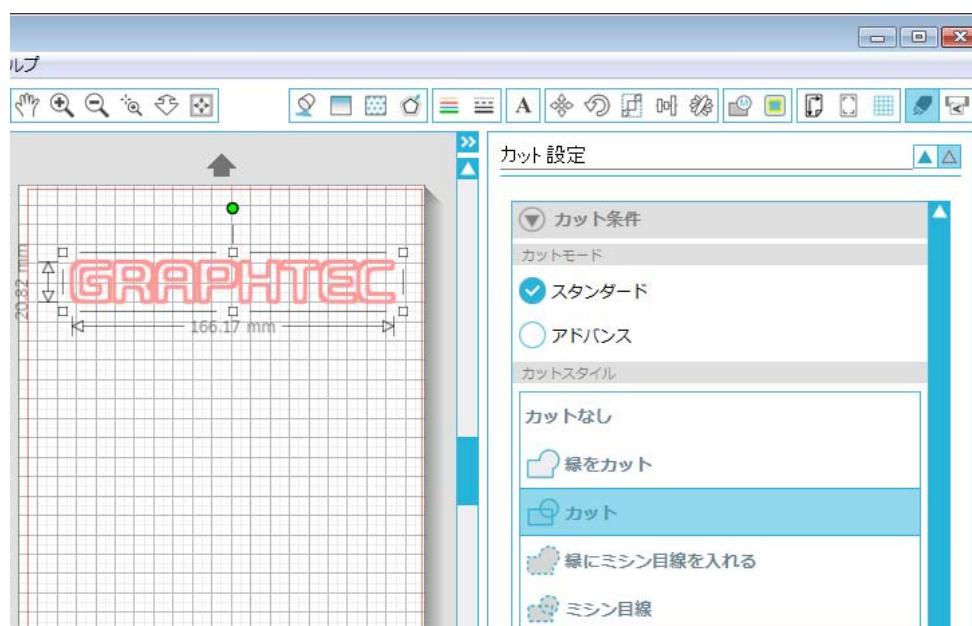


ロゴデータの上をクリックし、ドラッグすることで画像とアウトラインとが分離されますので、分離した後、画像データを削除します。



画像データが残っていると、画像データ自体の四角の枠もカット対象になります。

「カット設定」のアイコン  をクリックして「カット設定」を開きます。カットの方法は、前述「1. カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の以降と同じになりますので参照してください。



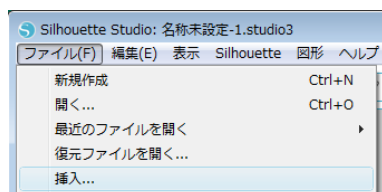
3. 画像データの印刷に合わせてシールをカットしたい

Silhouette Studio の設定は、前述「1. カuttingフィルムに文字切りを行いたい」の
から までの設定を行ってください。

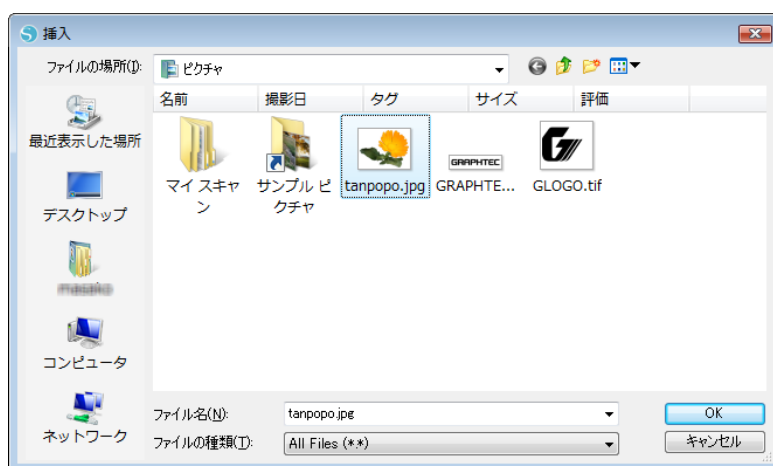
以降の説明は、画像データから自動的にアウトラインを作成し、位置あわせマーク（トンボ）
を使って印刷された画像データの周りをカットする方法について説明します。

1) 画像データからカットデータを作成するまで

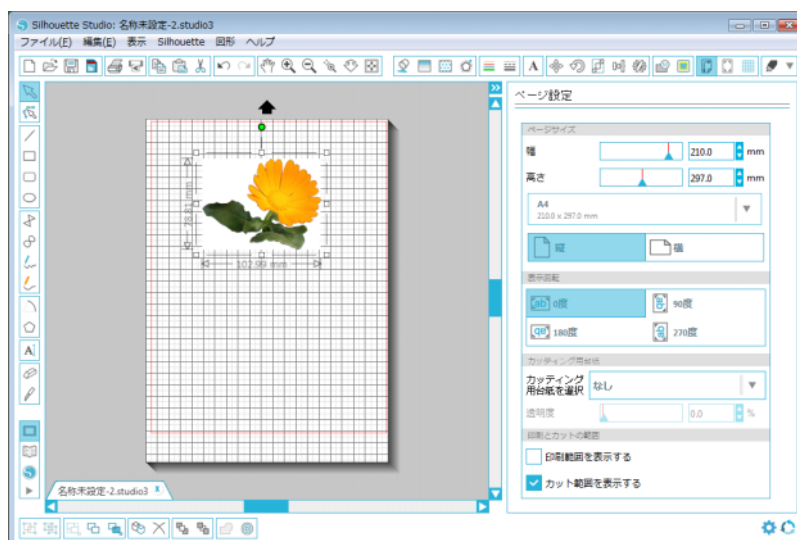
「ファイル(F)」から「挿入...」を選択します。




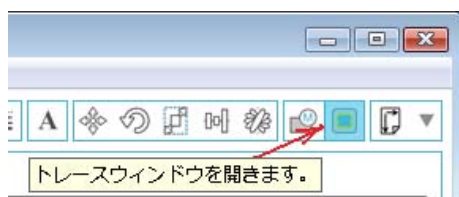
「ファイルの種類(T)」に「All Files(*.*)」を選択し、開きたい画像ファイルを選択し、
[OK] をクリックします。




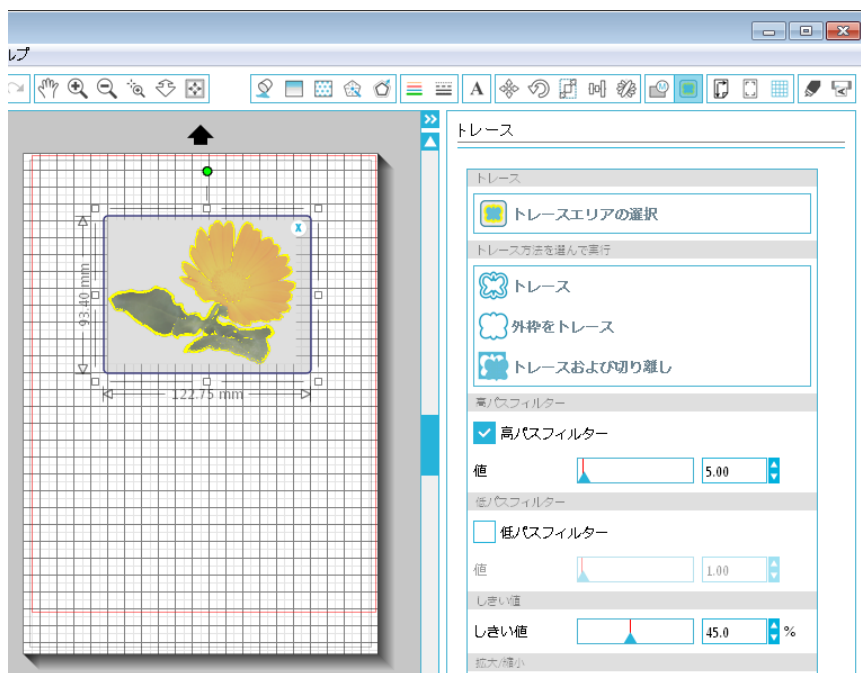
画像のファイルが開きますが、画像サイズが大きい場合は、ワークスペースに収まるように画
像データの角のコントロールポイントをクリックしてドラッグすることでサイズが調整でき
ます。



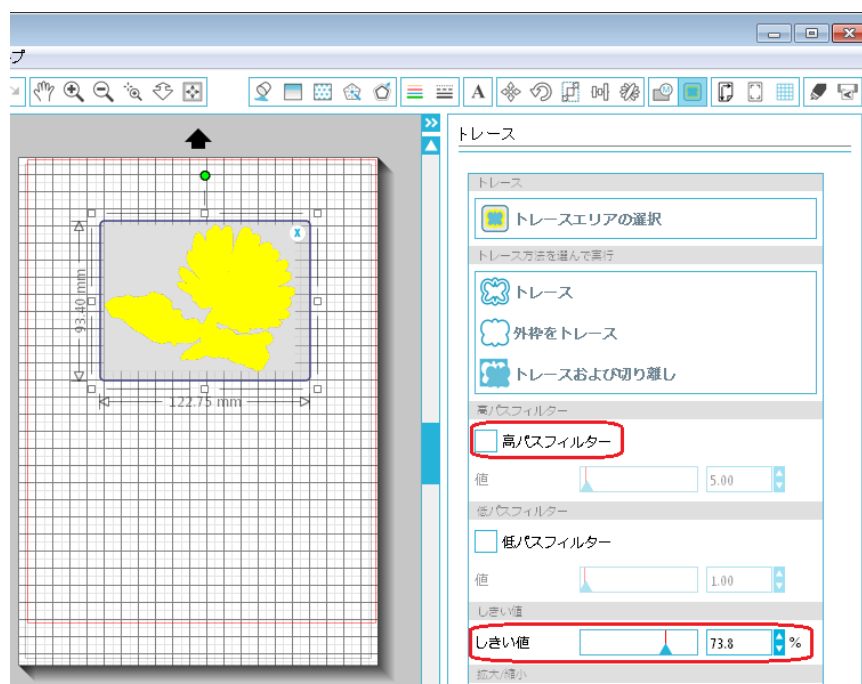
「トレースウィンドウを開きます。」のアイコン をクリックします。




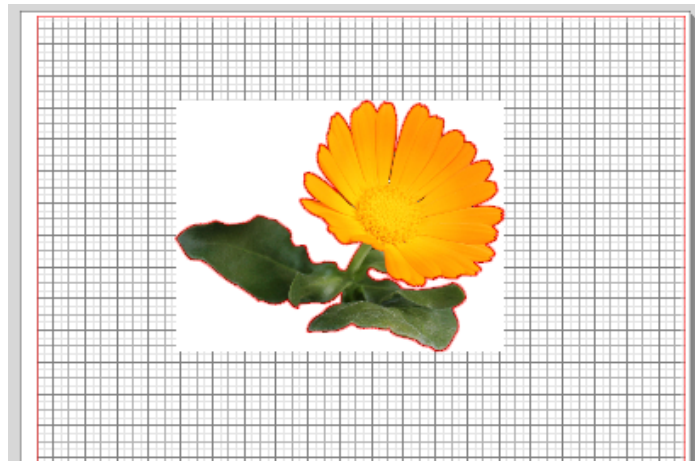
[ トレースエリアの選択] をクリックし、画像データ全体をドラッグして選択状態にします。



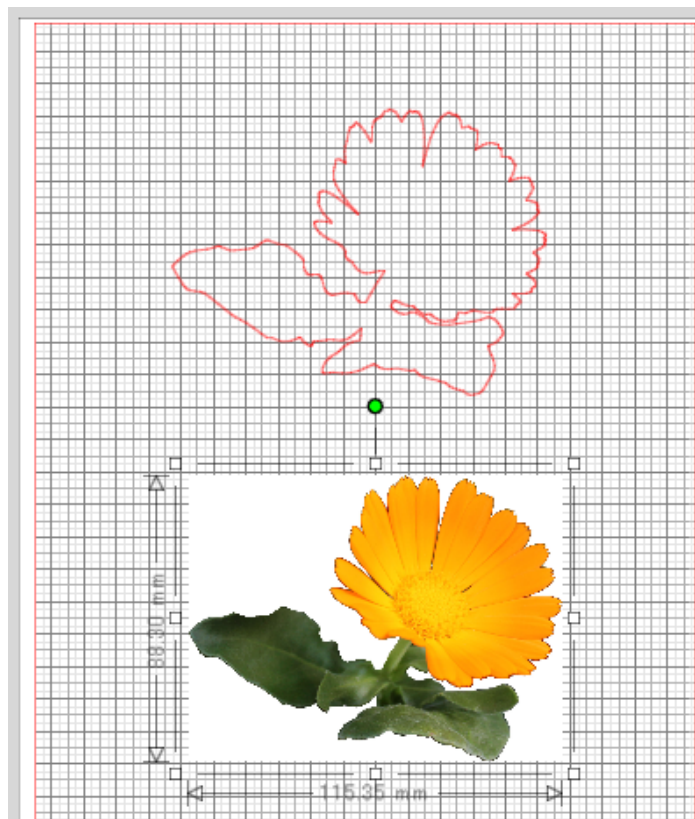
“高パスフィルター”のチェックを外し、“しきい値”の値を上げていくと画像データの全体が黄色になります。この状態でトレースすることでアウトラインが作成されます。




[ 外枠をトレース] をクリックすると画像データの外枠のアウトラインが作成されます。



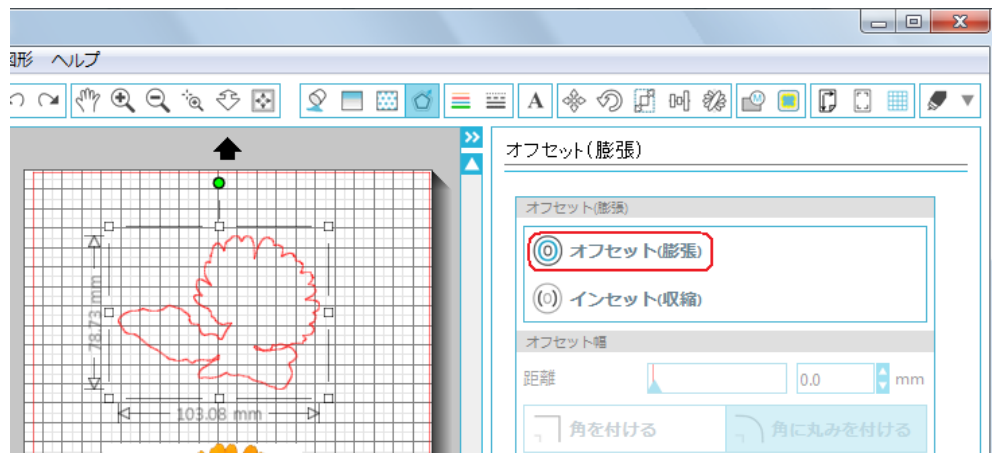
画像データの上をクリックし、ドラッグすることで画像とアウトラインが分離されます。



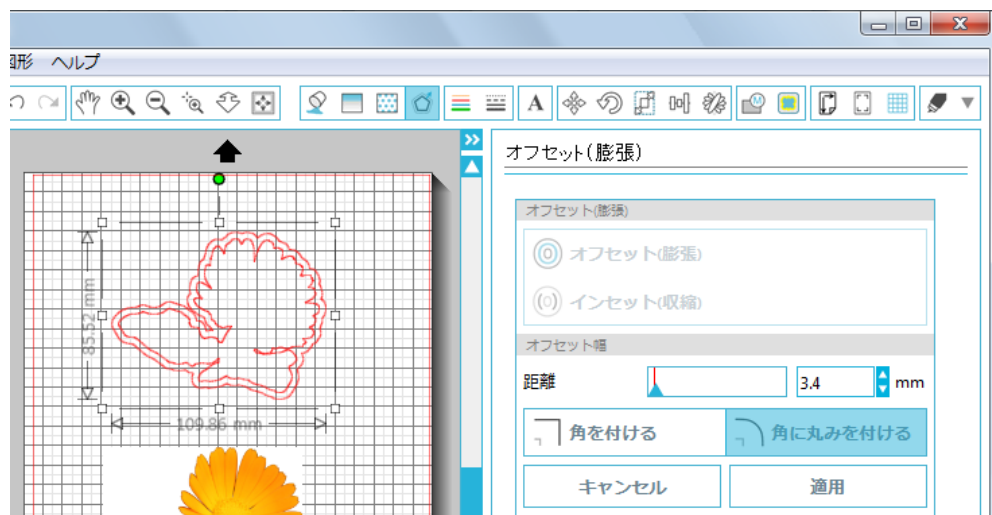
「選択した図形をオフセット」のアイコン  をクリックします。



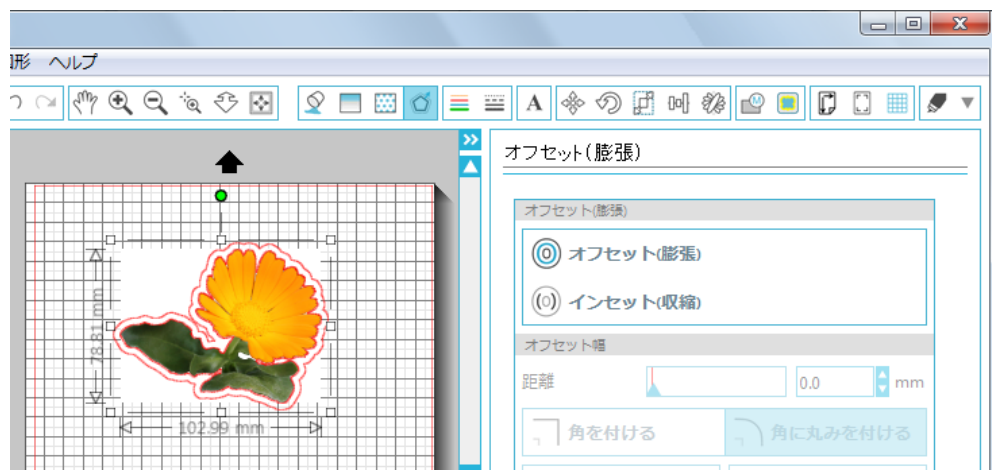
アウトラインを選択し、[ オフセット(膨張)] をクリックします。




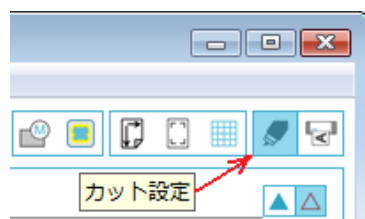
「オフセット幅」の“距離”の値を入力することで、元のアウトラインから設定された値でオフセットされたアウトラインが表示されますので、この設定で良ければ [適用] をクリックします。



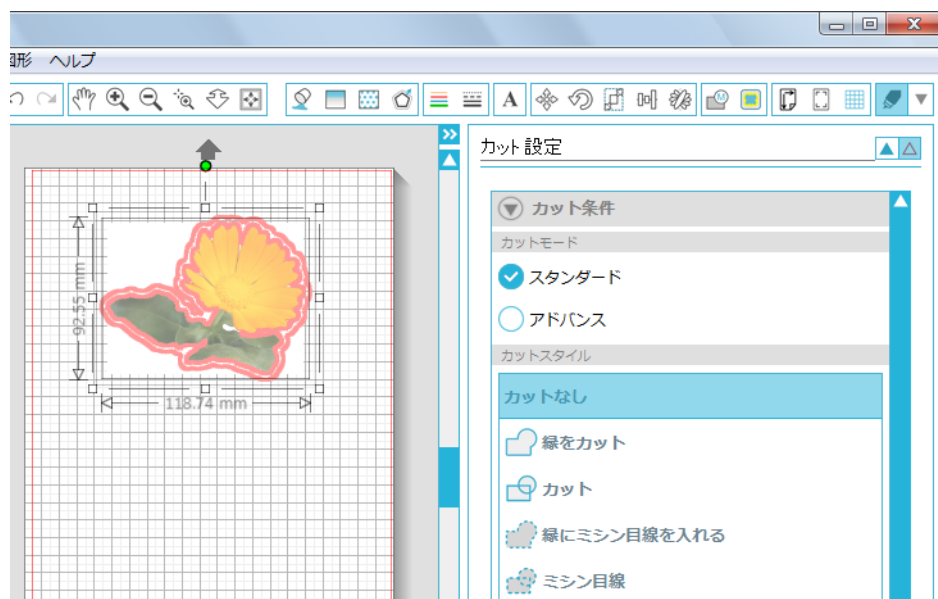
画像データをクリックし、元のアウトラインの位置にドラッグして戻します。



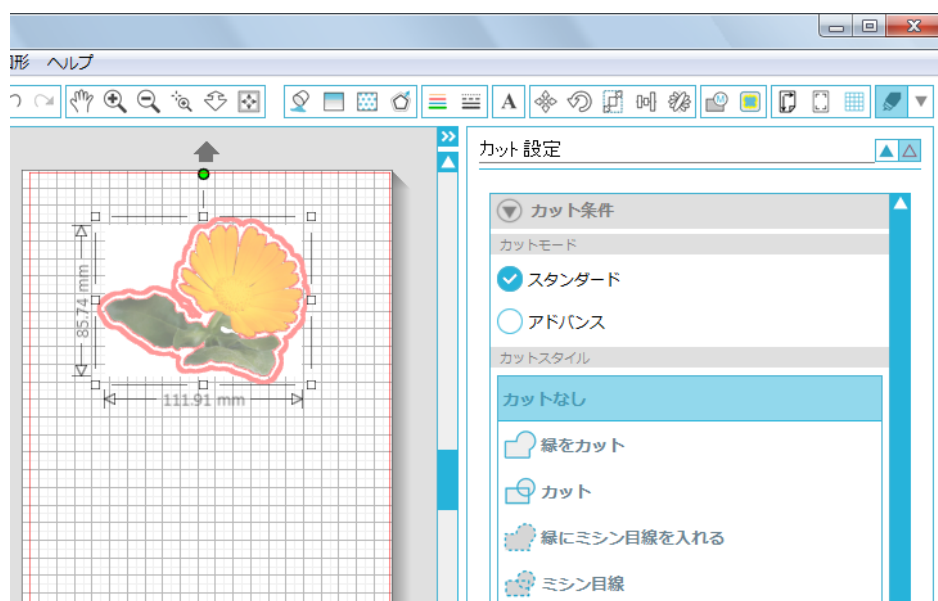
「カット設定」のアイコンをクリックして「カット設定」を開きます。




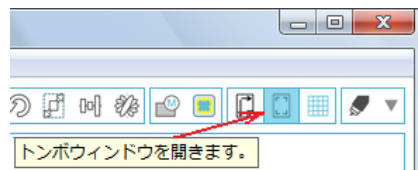
画像データの全体をドラッグして選択状態にします。




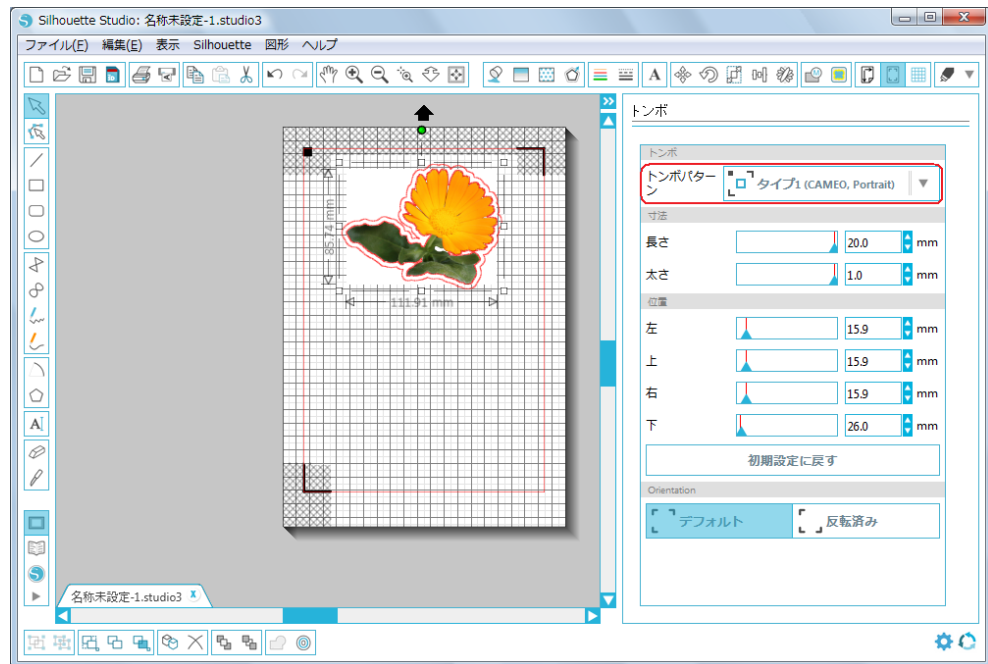
画像データの元のアウトラインがカット指定になっていますので、カットの必要が無い線を選択し、“**カットなし**”をクリックします。カットしたい線だけ“**カット**”をクリックして設定します。




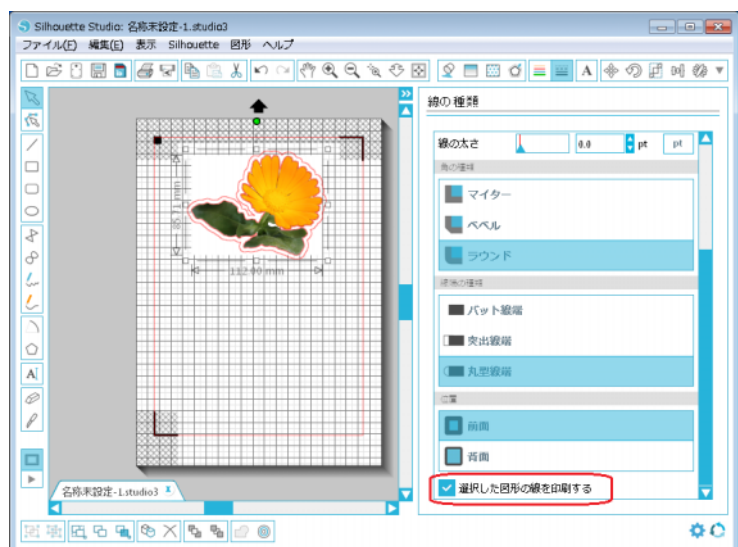
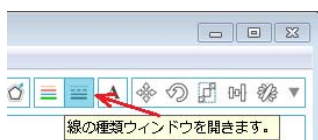
「トンボウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックします。




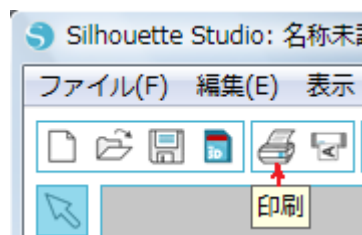
「トンボ」の設定画面が開きますので、「トンボパターン」から“タイプ1 (CAMEO, Portrait)”を選択します。



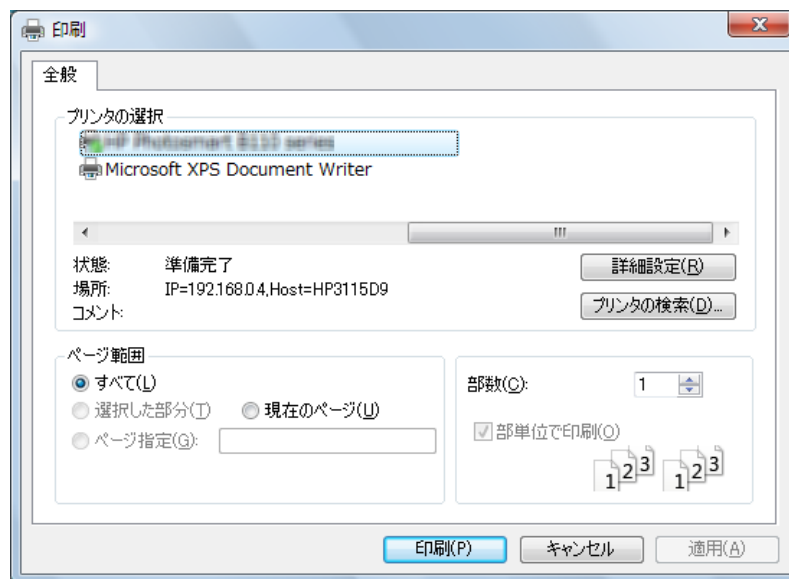
このまま印刷するとカットラインは印刷されませんが、カットラインを印刷したい場合は「線の種類ウィンドウを開く」のアイコンをクリックし、印刷したい線を選択し、「選択した図形の線を印刷する」にチェックします。




この状態で「印刷」アイコンをクリックします。

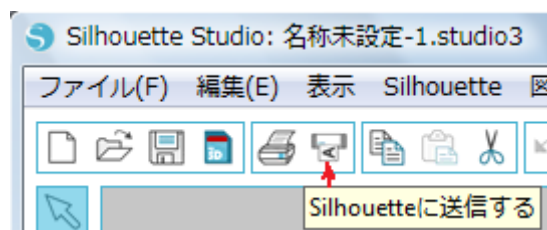


「印刷」画面よりプリンタを選択し [詳細設定 (R)] をクリックしてプリンタの設定を行った後 [印刷 (P)] をクリックして作成した画像データをカットするメディアに印刷します。



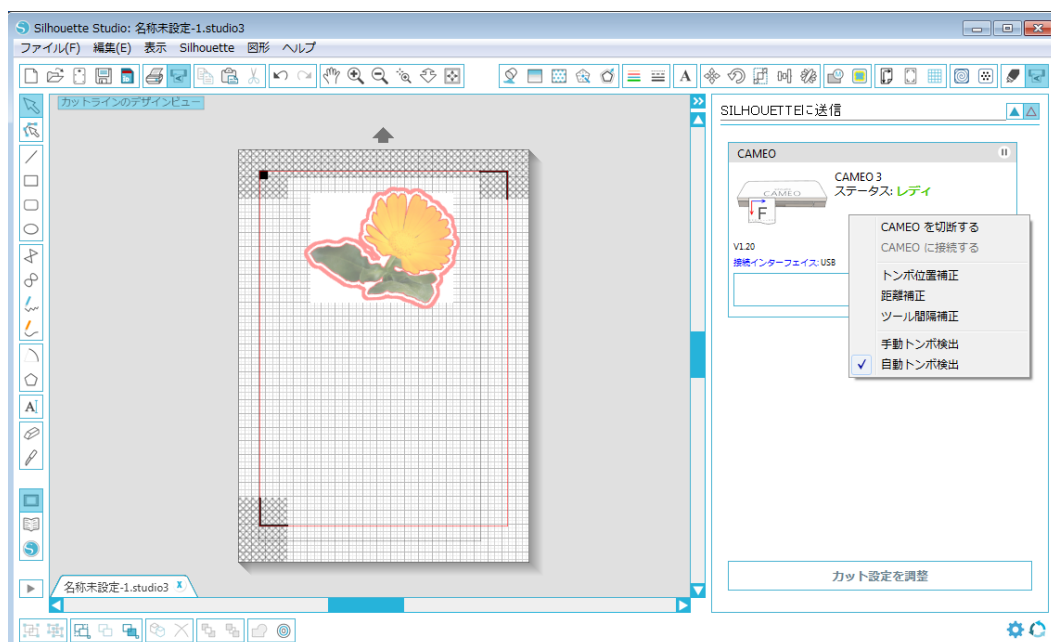
2) 印刷したシールのセットとカットまで

「Silhouette に送信」のアイコンをクリックします。



「SHILHOUTTE に送信する」が表示されます。カット設定が済んでいない場合は、[カット設定を調整] をクリックしてカット設定を行います。方法は、前述の「 1 . カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の以降と同じになりますので参照してください。

表示された「CAMEO 3」の上で右クリックするとトンボ読み取り方法の選択画面が表示されますので通常は、「自動トンボ検出」を選択してください。



Silhouette CAMEO 3 にプリント&カットするデータが印刷されたシールをセットし、「開始」ボタンを押すことで、「トンボ検出中」の表示が出て、自動的にトンボ読み取り動作を行います。
 正常にトンボ読み取りが完了すると「カット中」に表示が変わり、図形に合わせてカット動作を行います。



読み取り順序は、左上の位置あわせマーク(トンボ)からスタートして、左下、右上の順に読み取ります。読み取りに失敗した場合は、「トンボ検出失敗」のメッセージが表示されます。
 再試行する場合は、“トンボ自動検出を再試行”をクリックします。
 これでも読み取りに失敗する場合は、後述する“トンボ手動検出”を試してみてください。



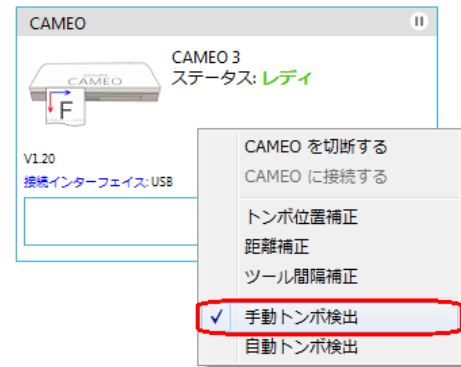
読み取りに失敗する原因として考えられること


- ・メディアのセット方法が間違っている。(メディアの左端がガイドラインに合っているか確認)
- ・位置あわせマークの印刷とセット方向が間違っている。
 (Silhouette Studio 画面の位置あわせマークの四角と印刷物の四角の位置を確認)
- ・メディアへの印刷時に拡大または縮小して印刷した。(等倍で印刷する)





“自動トンボ検出”の選択で読み取りが正常にできない場合は、“手動トンボ検出”を選択してトンボを手動で検索するようにします。

「CAMEO 3」の上で右クリックするとトンボ読み取り方法の選択画面が表示されますので、“手動トンボ検出”を選択します。

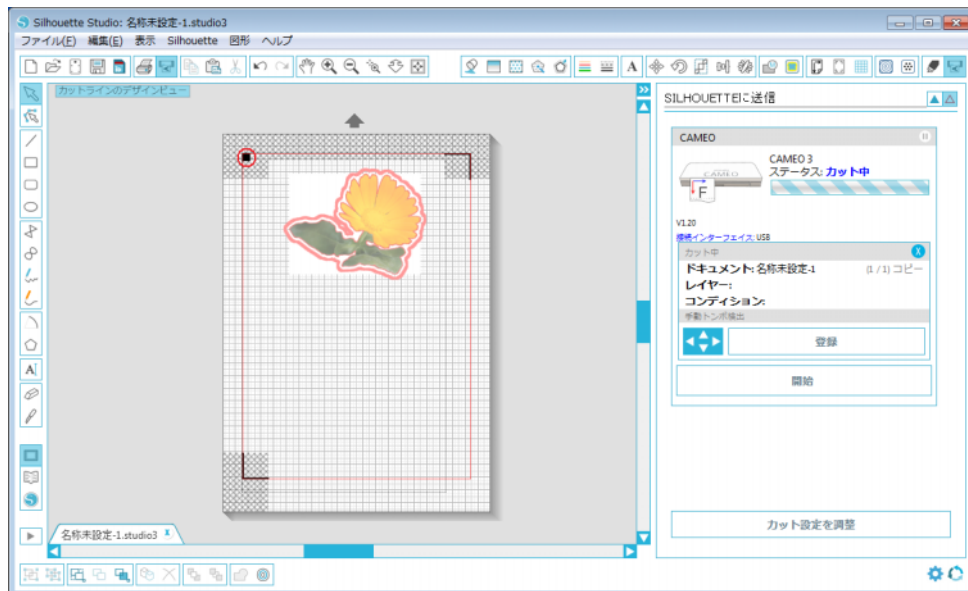
以降“手動トンボ検出”方法を記載します。



“手動トンボ検出”を選択すると下記画面が表示され、 のボタンをクリックすることで、Silhouette CAMEO 3 のカッタープランジヤとメディアの位置を移動することができます。

 のボタンをクリックするとカッタープランジヤが左側に、 のボタンをクリックするとカッタープランジヤが右側に動きます。 のボタンをクリックするとメディアが前方に、 のボタンをクリックするとメディアが後方に動きます。

カッタープランジヤの先端の位置を左上の位置あわせマーク (図の赤丸印) に合わせます。



位置が合ったら [登録] をクリックすることでトンボの読み取りが開始され、成功すれば自動的にカットが始まり、印刷された画像データに合わせたカットが行われます。

以上